

為替ヘッジあり

第93期末(2020年5月18日)	
基準価額	6,818円
純資産総額	1,100百万円
第88期～第93期	
騰落率	△ 6.2%
分配金(税引前)合計	240円

為替ヘッジなし

第93期末(2020年5月18日)	
基準価額	6,977円
純資産総額	13,454百万円
第88期～第93期	
騰落率	△ 6.6%
分配金(税引前)合計	360円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報から当ファンドのファンド名称を検索することにより、運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/債券

作成対象期間：2019年11月19日～2020年5月18日

交付運用報告書

第88期(決算日 2019年12月17日) 第91期(決算日 2020年3月17日)

第89期(決算日 2020年1月17日) 第92期(決算日 2020年4月17日)

第90期(決算日 2020年2月17日) 第93期(決算日 2020年5月18日)

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」は、このたび、第93期の決算を行いました。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券を中心に、他、転換社債(CB)等に実質的に投資を行い、投資信託財産の安定した収益の確保と着実な成長を目指して運用を行いました。

「為替ヘッジあり」においては、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指しました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



〒104-0031 東京都中央区京橋 2-2-1

お問い合わせは弊社営業部 セールスサポートグループへ
フリーダイヤル ☎0120-048-214 (営業日の9:00～17:00)

[ホームページ]

<https://www.okasan-am.jp>

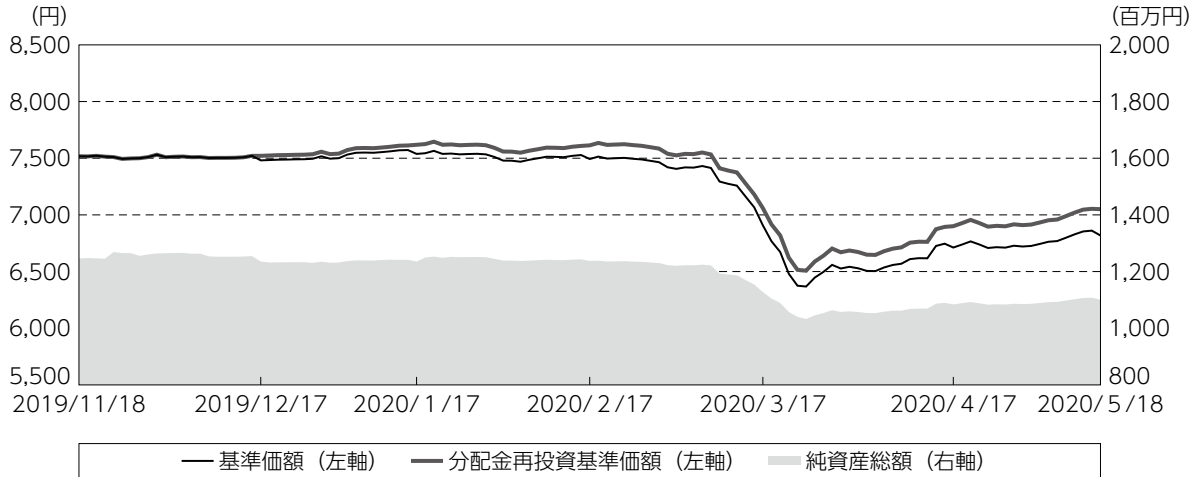
※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2019年11月19日～2020年5月18日)

【為替ヘッジあり】



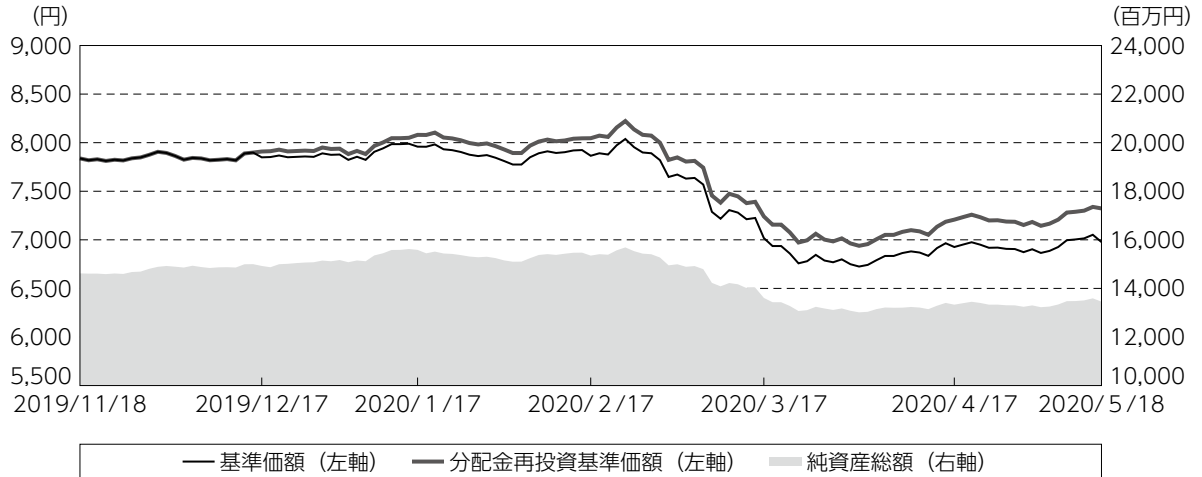
第88期首：7,517円

第93期末：6,818円 (既払分配金 (税引前)：240円)

騰落率：△6.2% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2019年11月18日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【為替ヘッジなし】



第88期首：7,838円

第93期末：6,977円 (既払分配金 (税引前)：360円)

騰落率：△6.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2019年11月18日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) >

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)
 - ・投資対象とした「G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)」 (マザーファンド) において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- クレディ・スイス・アジアCBファンド (円ヘッジクラス)
 - ・情報技術セクターの一部の保有CBの価格上昇がプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)
 - ・投資対象としたマザーファンドにおいて、保有債券の利回りが上昇し、債券価格が下落したことがマイナス要因となりました。
- クレディ・スイス・アジアCBファンド (円ヘッジクラス)
 - ・家庭用品・パーソナル用品、不動産セクターの保有CBの価格下落がマイナス要因となりました。

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

当ファンドの主要投資対象ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)
 - ・投資対象とした「G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用)」 (マザーファンド) において、保有債券からの利息収入がプラス要因となりました。
- クレディ・スイス・アジアCBファンド (ヘッジなしクラス)
 - ・情報技術セクターの一部の保有CBの価格上昇がプラス要因となりました。

(主なマイナス要因)

- アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)
 - ・投資対象としたマザーファンドにおいて、保有債券の利回りが上昇し、債券価格が下落したことがマイナス要因となりました。
 - ・為替市場で米ドルが対円で下落したことがマイナス要因となりました。
- クレディ・スイス・アジアCBファンド (ヘッジなしクラス)
 - ・家庭用品・パーソナル用品、不動産セクターの保有CBの価格下落がマイナス要因となりました。
 - ・為替市場で米ドル、香港ドル、ユーロなどが対円で下落したことがマイナス要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

(2019年11月19日～2020年5月18日)

【為替ヘッジあり】

項 目	第88期～第93期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	円 46 (17) (28) (1)	% 0.640 (0.241) (0.383) (0.016)	(a)信託報酬=作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	0 (0) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(b)その他費用=作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	46	0.647	
作成期間中の平均基準価額は、7,203円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

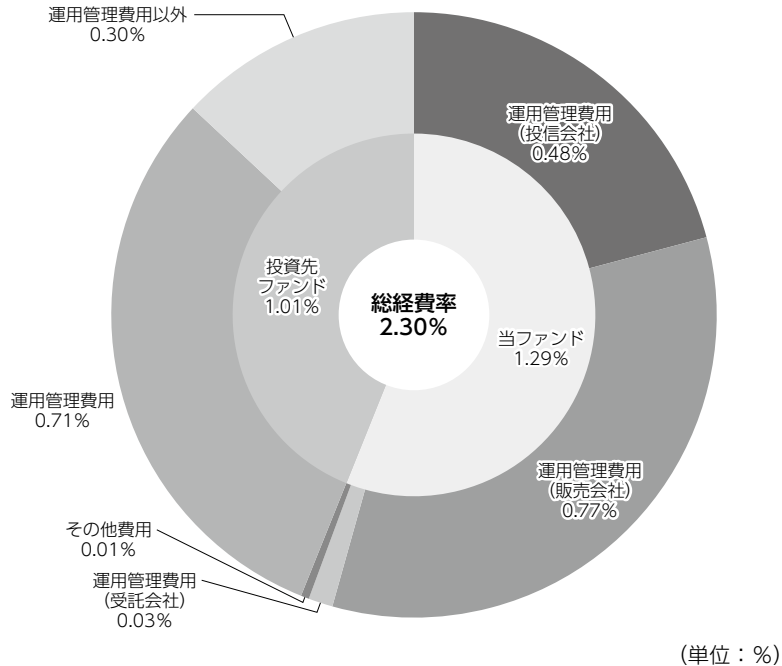
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.30%です。



総経費率 (①+②+③)	2.30
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.71
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.30

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

【為替ヘッジなし】

項 目	第88期～第93期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	48 (18) (29) (1)	0.640 (0.241) (0.383) (0.016)	(a)信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (0) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(b)その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、金銭信託支払手数料
合 計	49	0.647	
作成期間中の平均基準価額は、7,514円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

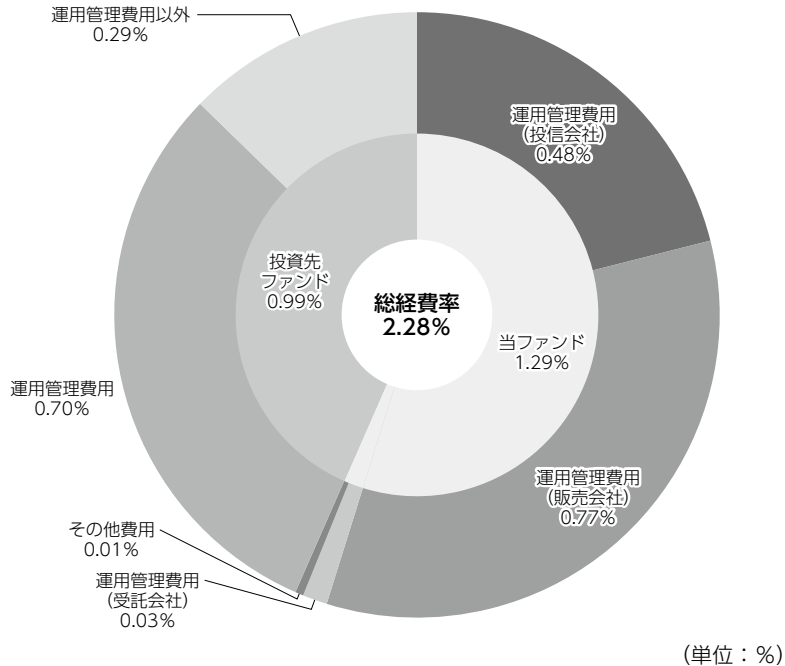
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万円当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.28%です。



総経費率 (①+②+③)	2.28
①当ファンドの費用の比率	1.29
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.70
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.29

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

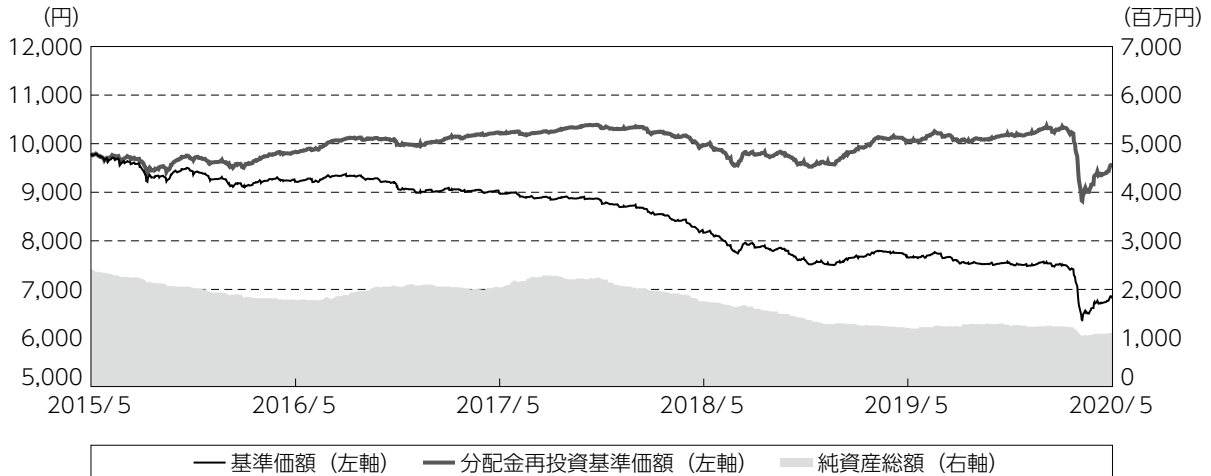
(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年5月18日～2020年5月18日)

【為替ヘッジあり】

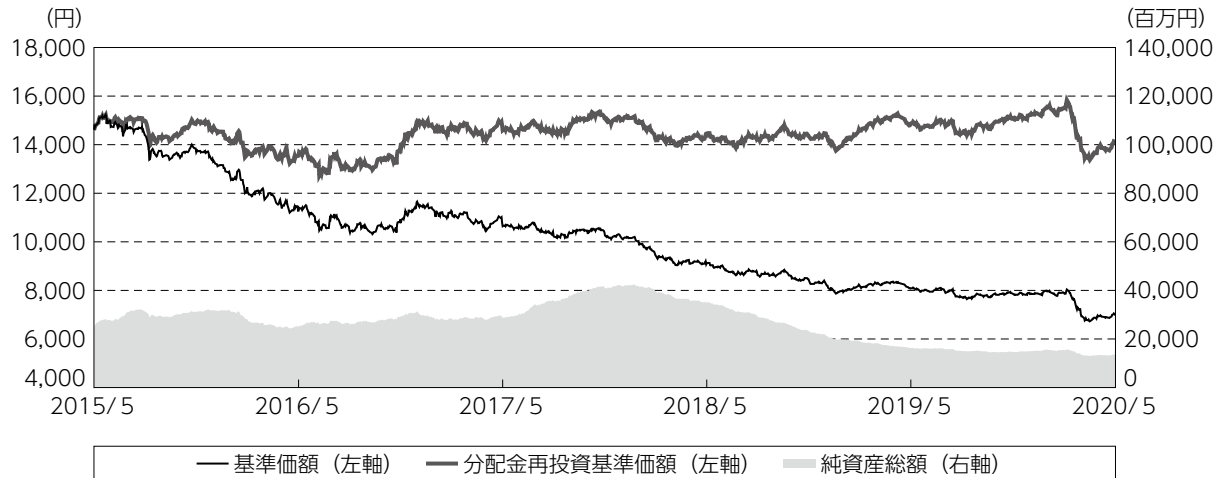


- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2015年5月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年5月18日 期初	2016年5月17日 決算日	2017年5月17日 決算日	2018年5月17日 決算日	2019年5月17日 決算日	2020年5月18日 決算日
基準価額 (円)	9,751	9,218	8,982	8,168	7,657	6,818
期間分配金合計(税引前) (円)	—	600	600	600	570	480
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.8	4.0	△ 2.6	0.9	△ 5.0
J.P. Morgan Asia Credit Index – Non-investment Grade Corporate (%) Index(米ドル建て)騰落率	—	7.3	8.7	0.0	7.5	△ 0.6
純資産総額 (百万円)	2,418	1,782	2,039	1,763	1,205	1,100

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) J.P. Morgan Asia Credit Index – Non-investment Grade Corporate Index (米ドル建て) は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

【為替ヘッジなし】



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2015年5月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年5月18日 期初	2016年5月17日 決算日	2017年5月17日 決算日	2018年5月17日 決算日	2019年5月17日 決算日	2020年5月18日 決算日
基準価額 (円)	14,613	11,281	10,782	9,072	8,076	6,977
期間分配金合計(税引前) (円)	—	2,400	1,440	1,440	1,260	720
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 7.2	9.1	△ 2.7	3.3	△ 5.1
J.P. Morgan Asia Credit Index – Non-investment Grade Corporate (%) Index (円換算後)騰落率	—	△ 2.3	12.3	△ 2.0	7.1	△ 3.1
純資産総額 (百万円)	24,961	25,039	28,955	34,881	16,254	13,454

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) J.P. Morgan Asia Credit Index – Non-investment Grade Corporate Index (円換算後) は当ファンドの参考指数であり、当該日前営業日の現地終値に為替レート(対顧客電信売買相場の当日(東京)の仲値)を乗じて岡三アセットマネジメントが算出しています。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。

投資環境

(2019年11月19日～2020年5月18日)

当作成期のアジア・ハイ・イールド債券市場は、下落しました。作成期初から2020年2月中旬までは、良好な経済指標や、米中両国が通商協議における第一段階の合意文書へ署名し、米中の緊張が緩和したことなどが支援材料となり、緩やかに上昇しました。2月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大し、投資家心理が悪化したことや、原油価格の急落を受けて、大幅に下落しました。その後は、経済指標の悪化などが懸念されたものの、新型コロナウイルスの感染拡大に鈍化の兆しが見られ、投資家心理の改善につながったことや、各国の中央銀行や政府による政策などが支援材料となり、堅調に推移しました。

アジアCB市場は、下落しました。米中通商協議の進展期待を背景に、2020年1月中旬までは堅調に推移しました。しかしその後は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、世界的に景気後退への懸念が高まり、投資家心理が急速に悪化する中、3月にかけて大幅に下落しました。4月以降は、各国政府や中央銀行による政策対応などが支援材料となり、上昇に転じました。

為替市場は、米ドルが対円で下落しました。作成期初から2020年2月中旬にかけて、米中通商協議の進展期待などから投資家のリスク選好の動きが強まり、米ドルが対円で堅調に推移しました。しかし2020年2月下旬以降は、新型コロナウイルスの感染者数が増加したことを受け、世界的に株価が急落したことや、米連邦準備制度理事会(FRB)による緊急利下げなどを背景に、米ドルが対円で急落しました。3月中旬以降は、新型コロナウイルスの感染拡大ペースの鈍化を受けて、投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、米ドルが対円で下落幅を縮小する展開となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2019年11月19日～2020年5月18日)

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」および「クレディ・スイス・アジアCBファンド (円ヘッジクラス)」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。当作成期におきましては、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高め維持しました。

○クレディ・スイス・アジアCBファンド (円ヘッジクラス)

日本を除くアジア地域の国の企業、または当該諸国にて主に事業活動を営む企業が発行するCB等に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行いました。また、外貨建資産への投資については、為替ヘッジを行いました。

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」および「クレディ・スイス・アジアCBファンド (ヘッジなしクラス)」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に維持しました。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行いました。また、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いませんでした。当作成期におきましては、国別では中国、業種別では不動産への投資比率を高め維持しました。

○クレディ・スイス・アジアCBファンド (ヘッジなしクラス)

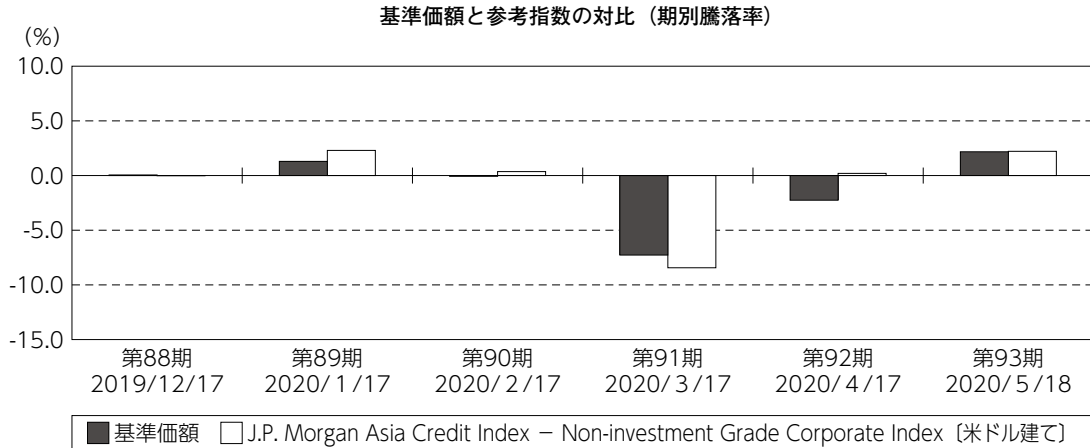
日本を除くアジア地域の国の企業、または当該諸国にて主に事業活動を営む企業が発行するCB等に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行いました。また、外貨建資産への投資については、為替ヘッジを行いませんでした。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年11月19日～2020年5月18日)

【為替ヘッジあり】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

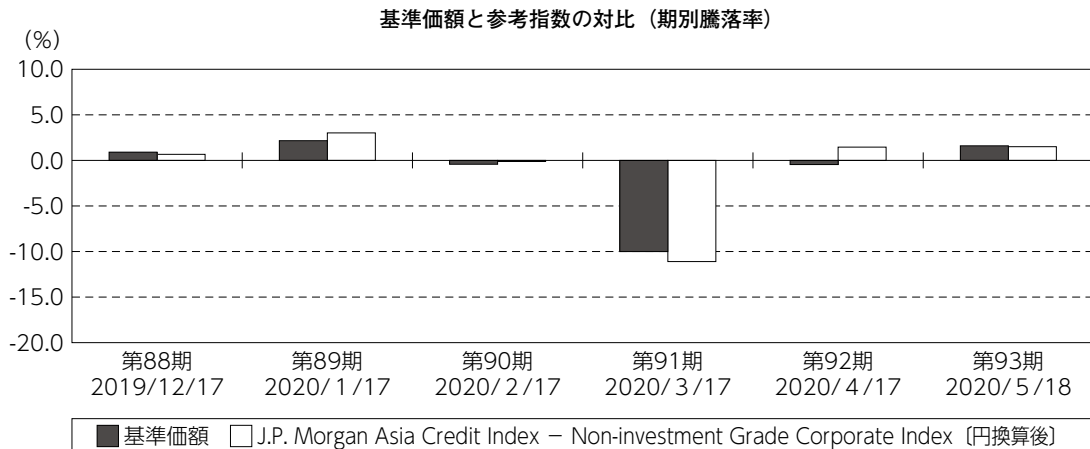


(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [米ドル建て] です。

【為替ヘッジなし】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。下記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金 (税引前) 込みです。

(注) 参考指数は、J.P. Morgan Asia Credit Index - Non-investment Grade Corporate Index [円換算後] です。

分配金

(2019年11月19日～2020年5月18日)

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) >

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は、第88期から第93期の決算期にそれぞれ1万口当たり40円（税引前）、合計240円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
	2019年11月19日～ 2019年12月17日	2019年12月18日～ 2020年1月17日	2020年1月18日～ 2020年2月17日	2020年2月18日～ 2020年3月17日	2020年3月18日～ 2020年4月17日	2020年4月18日～ 2020年5月18日
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	0.532%	0.528%	0.531%	0.576%	0.592%	0.583%
当期の収益	15	33	27	24	29	34
当期の収益以外	24	6	12	15	10	5
翌期繰越分配対象額	410	404	391	376	366	360

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

当ファンドの分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。当作成期間は、第88期から第93期の決算期にそれぞれ1万口当たり60円（税引前）、合計360円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第88期	第89期	第90期	第91期	第92期	第93期
	2019年11月19日～ 2019年12月17日	2019年12月18日～ 2020年1月17日	2020年1月18日～ 2020年2月17日	2020年2月18日～ 2020年3月17日	2020年3月18日～ 2020年4月17日	2020年4月18日～ 2020年5月18日
当期分配金	60	60	60	60	60	60
(対基準価額比率)	0.759%	0.748%	0.757%	0.848%	0.859%	0.853%
当期の収益	21	34	27	24	29	35
当期の収益以外	38	25	32	35	31	24
翌期繰越分配対象額	565	540	508	473	442	417

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジあり) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)」と「クレディ・スイス・アジアCBファンド (円ヘッジクラス)」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

○クレディ・スイス・アジアCBファンド (円ヘッジクラス)

日本を除くアジア地域の国の企業、または当該諸国にて主に事業活動を営む企業が発行するCB等に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行います。なお、外貨建資産への投資にあたっては、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。

<アジア ハイ・イールド・プラス (毎月決算型) (為替ヘッジなし) >

「アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)」と「クレディ・スイス・アジアCBファンド (ヘッジなしクラス)」を投資対象ファンドとし、両ファンド合計の組入比率を高位に保つことを基本とします。

○アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)

マザーファンドへの投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券等に投資を行い、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。なお、実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。

○クレディ・スイス・アジアCBファンド (ヘッジなしクラス)

日本を除くアジア地域の国の企業、または当該諸国にて主に事業活動を営む企業が発行するCB等に投資を行い、信託財産の着実な成長を目的として運用を行います。なお、外貨建資産への投資にあたっては、為替ヘッジを行いません。

お知らせ

【為替ヘッジあり】 / 【為替ヘッジなし】

該当事項はございません。

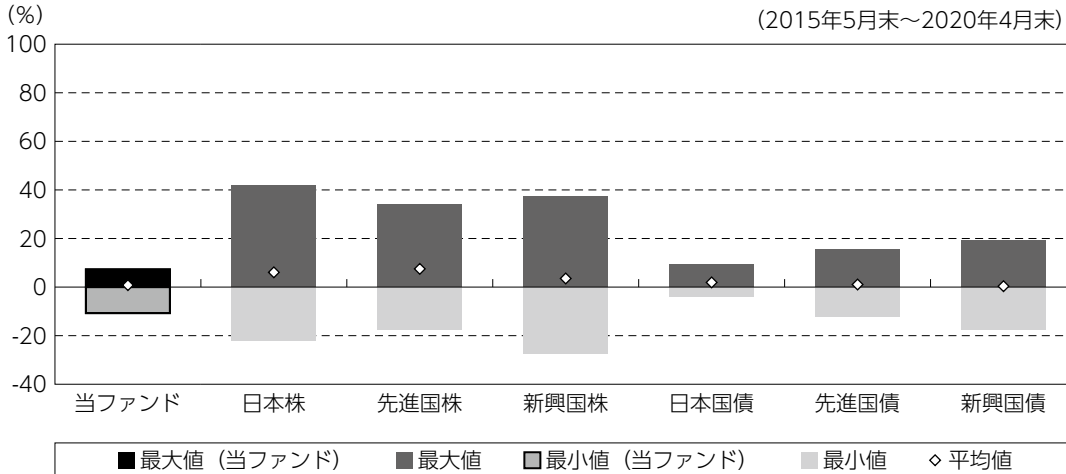
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	2012年8月27日から2022年5月17日までです。		
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、アジアのハイ・イールド債券を中心に、他、転換社債（CB）等にも実質的に投資を行い、投資信託財産の安定した収益の確保と着実な成長を目指して運用を行います。		
主要投資対象	為替ヘッジあり	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用） ・クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス） ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。	
	為替ヘッジなし	<ul style="list-style-type: none"> ・アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用） ・クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス） ※実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
	アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）／アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）の受益証券への投資を通じて、アジア諸国の高利回り社債および高利回り社債の信用リスクを主として反映する仕組債を主要投資対象とします。	
	クレディ・スイス・アジアCBファンド（円ヘッジクラス）／クレディ・スイス・アジアCBファンド（ヘッジなしクラス）	アジア（除く日本）のCBを主要投資対象とします。	
運用方法	投資にあたっては、ファンダメンタルズ分析、バリュエーション分析等を基に銘柄を選定します。また転換社債（CB）に関しては、前記に加え、株価との連動性等を勘案し銘柄を選定します。ポートフォリオの構築にあたっては、金利収入の獲得を重視し、債券価格の上昇による投資信託財産の成長を目指します。		
分配方針	毎月17日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。		

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較

【為替ヘッジあり】



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	7.3	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	△ 10.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	0.8	6.1	7.5	3.5	1.9	1.1	0.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年5月から2020年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

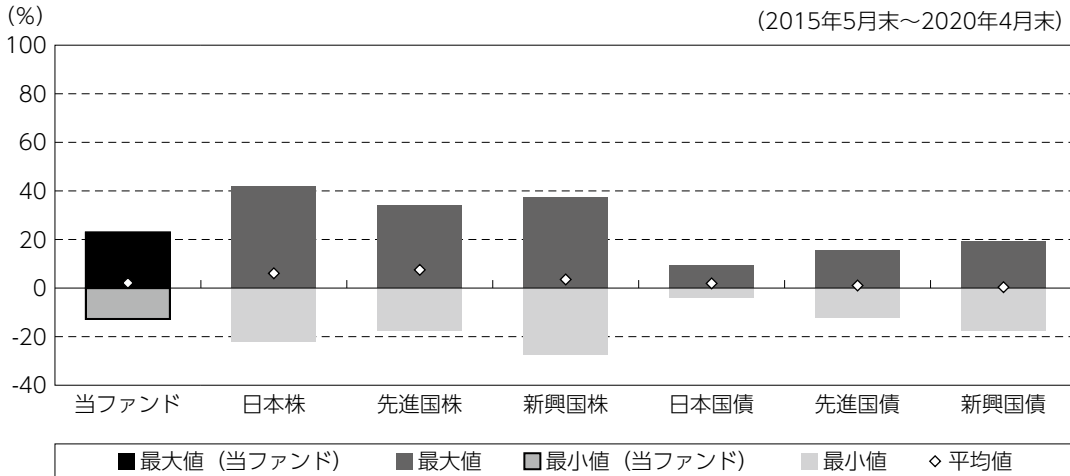
先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

【為替ヘッジなし】



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	22.8	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
最小値	△ 12.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	2.1	6.1	7.5	3.5	1.9	1.1	0.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年5月から2020年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ【為替ヘッジあり】

組入資産の内容

(2020年5月18日現在)

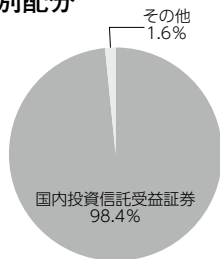
○組入上位ファンド

銘柄名	第93期末
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)	86.4%
クレディ・スイス・アジアC Bファンド (円ヘッジクラス)	12.0%
組入銘柄数	2銘柄

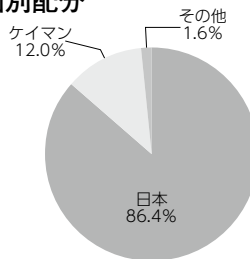
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

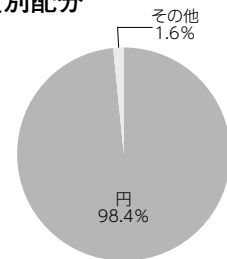
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

項目	第88期末	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末
	2019年12月17日	2020年1月17日	2020年2月17日	2020年3月17日	2020年4月17日	2020年5月18日
純資産総額	1,235,254,702円	1,235,179,667円	1,237,514,893円	1,127,755,707円	1,084,268,121円	1,100,943,897円
受益権総口数	1,651,158,157口	1,638,572,903口	1,651,515,407口	1,632,507,912口	1,615,350,414口	1,614,760,262口
1万口当たり基準価額	7,481円	7,538円	7,493円	6,908円	6,712円	6,818円

(注) 当作成期間(第88期～第93期)中における追加設定元本額は75,449,111円、同解約元本額は118,623,485円です。

当ファンドのデータ【為替ヘッジなし】

組入資産の内容

(2020年5月18日現在)

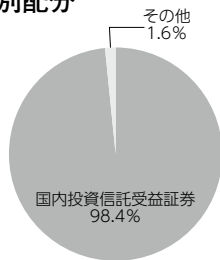
○組入上位ファンド

銘柄名	第93期末
アジア・ハイ・イールド債券ファンドF (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用)	86.4%
クレディ・スイス・アジアC Bファンド (ヘッジなしクラス)	12.0%
組入銘柄数	2銘柄

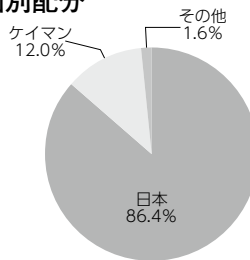
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

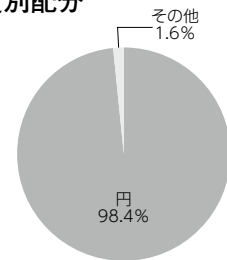
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては100%超となる場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

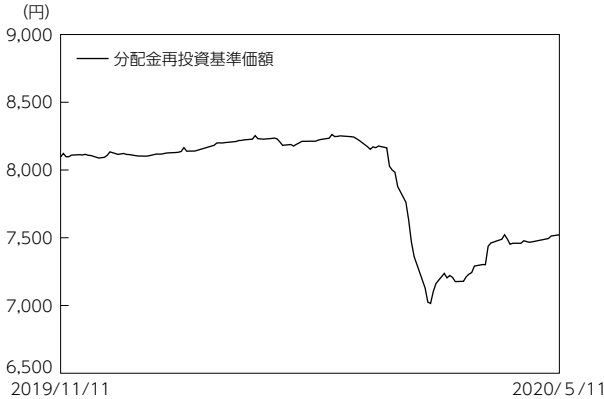
項目	第88期末	第89期末	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末
	2019年12月17日	2020年1月17日	2020年2月17日	2020年3月17日	2020年4月17日	2020年5月18日
純資産総額	14,923,807,663円	15,585,933,579円	15,350,004,585円	13,608,122,724円	13,330,223,314円	13,454,024,284円
受益権総口数	19,014,758,929口	19,583,027,774口	19,517,212,240口	19,390,607,746口	19,247,909,551口	19,282,217,741口
1万口当たり基準価額	7,849円	7,959円	7,865円	7,018円	6,926円	6,977円

(注) 当作成期間(第88期~第93期)中における追加設定元本額は2,822,823,853円、同解約元本額は2,190,699,561円です。

組入上位ファンドの概要

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2019年11月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2019年11月12日～2020年5月11日)

項 目	第96期～第101期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	27 (26) (0) (1)	0.350 (0.328) (0.005) (0.016)	(a)信託報酬＝〔当作成期中の平均基準価額〕×信託報酬率 投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価 販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価 受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	1 (1) (1) (0)	0.018 (0.007) (0.011) (0.000)	(b)その他費用＝ $\frac{〔当作成期中のその他費用〕}{〔当作成期中の平均受益権口数〕}$ 保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用 監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用 その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	28	0.368	
当作成期中の平均基準価額は、7,797円です。			

(注) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）の組入資産の内容

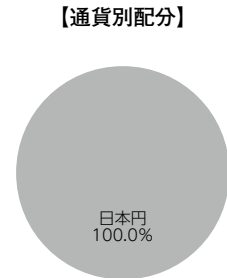
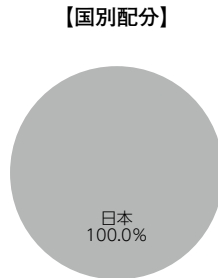
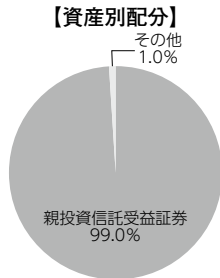
【組入上位ファンド】

(2020年5月11日)

銘柄名	投資比率
GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）	99.0%
その他	1.0%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

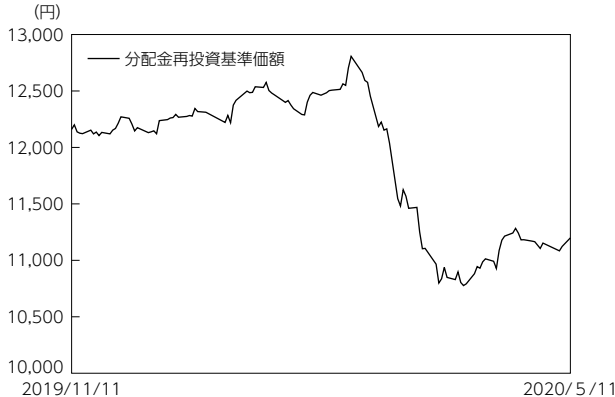
(注) その他は現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。

(注) 国別配分は発行国を表示しています。なお、当ファンドの実質的な投資内容は、次ページ以降をご参照ください。

組入上位ファンドの概要

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2019年11月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

【1万口当たりの費用明細】

(2019年11月12日～2020年5月11日)

項 目	第96期～第101期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	41 (39) (1) (2)	0.350 (0.328) (0.005) (0.016)	(a)信託報酬＝〔当作成期中の平均基準価額〕×信託報酬率 投信会社 投資判断、受託会社に対する指図等の運用業務、開示資料作成業務、基準価額の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価 販売会社 受益者の口座管理業務、換金代金等の支払い業務、購入後の投資環境等の情報提供業務、およびこれらに付随する業務の対価 受託会社 信託財産の記帳・保管・管理業務、委託会社からの指図の執行業務、信託財産の計算業務、およびこれらに付随する業務の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (そ の 他)	2 (1) (1) (0)	0.018 (0.007) (0.011) (0.000)	(b)その他費用＝ $\frac{〔当作成期中のその他費用〕}{〔当作成期中の平均受益権口数〕}$ 保管費用 外貨建資産の保管業務の対価として受託会社の委託先である保管銀行等に支払われる費用 監査費用 信託財産の財務諸表の監査業務の対価として監査法人に支払われる費用 その他 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	43	0.368	
当作成期中の平均基準価額は、11,758円です。			

(注) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

アジア・ハイ・イールド債券ファンドF（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の組入資産の内容

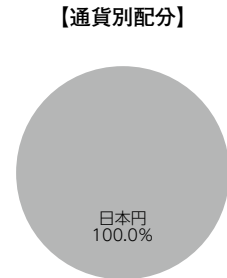
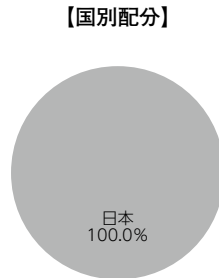
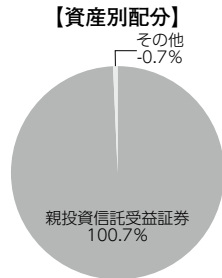
【組入上位ファンド】

(2020年5月11日)

銘柄名	投資比率
GIMアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド（適格機関投資家専用）	100.7%
その他	-0.7%
組入銘柄数	1銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。



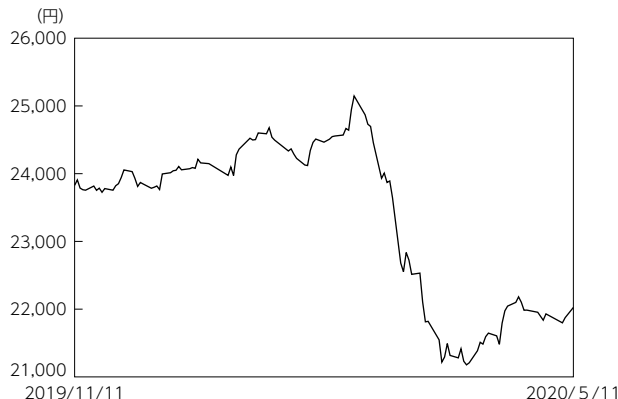
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他の資産（負債控除後）です。

(注) 国別配分は発行国を表示しています。なお、当ファンドの実質的な投資内容は、次ページ以降をご参照ください。

参考情報：G I Mアジア・ハイ・イールド債券マザーファンド (適格機関投資家専用) の組入資産の内容

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2019年11月12日～2020年5月11日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	2	0.007
(保管費用)	(2)	(0.007)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	2	0.007

期中の平均基準価額は、23,356円です。

(注) 項目の概要については、前記当ファンドに投資している投資信託の運用報告書「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注) 各項目は簡便法により算出し、円未満は四捨五入です。

(注) 比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

【組入上位10銘柄】

(2020年5月11日)

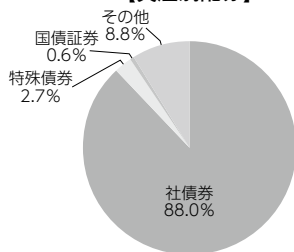
順位	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国 (地域)	比率
1	FWD VAR 49	社債券	米ドル	イギリス	2.2
2	HOPSON DEVELOPMENT 7.5%	社債券	米ドル	アメリカ	2.1
3	GEMSTONES INTL 12%	社債券	米ドル	アメリカ	2.1
4	CHINA SCE PPT 7.45%	社債券	米ドル	アメリカ	2.1
5	MAOYE INTL 13.25%	社債券	米ドル	アメリカ	2.0
6	COUNTRY GARDEN 6.15%	社債券	米ドル	アメリカ	1.9
7	GOLDEN EAGLE 4.625% REGS	社債券	米ドル	アメリカ	1.8
8	FWD GRP VAR EMTN	社債券	米ドル	イギリス	1.7
9	RKPF OVERSEAS 6.7%	社債券	米ドル	イギリス	1.7
10	EXPAND LEAD 6.4%	社債券	米ドル	イギリス	1.7
組入銘柄数			112銘柄		

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しています。

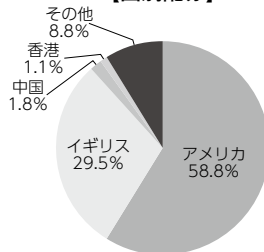
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国 (地域) は発行国を表示しています。

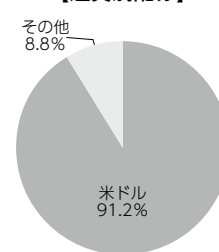
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) その他は現金・預金・その他資産 (負債控除後) です。

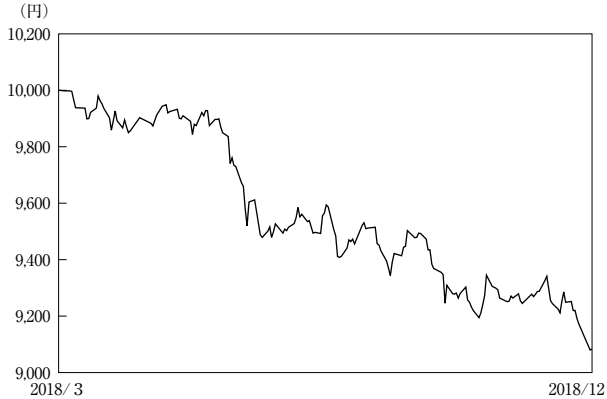
(注) 国別配分は発行国を表示しています。

組入上位ファンドの概要

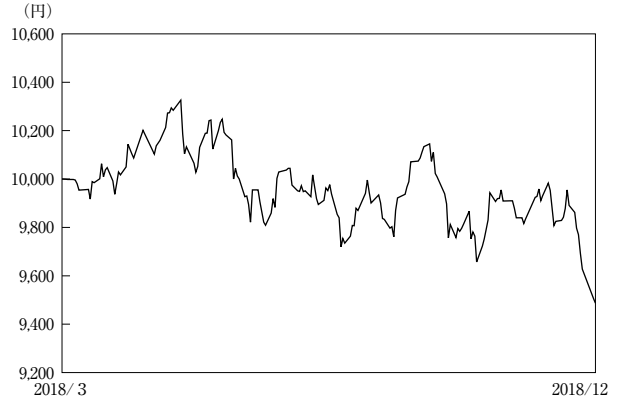
クレディ・スイス・アジアCBファンド (円ヘッジクラス/ヘッジなしクラス)

※「クレディ・スイス・アセット・マネジメント (スイス) リミテッド」は、2020年5月1日より「クレディ・スイス・インベストメント・パートナーズ (スイス) リミテッド」に社名変更となりました。クレディ・スイス・インベストメント・パートナーズ (スイス) リミテッドのデータを基に、岡三アセットマネジメントが作成し掲載しております。

【基準価額の推移 (円ヘッジクラス)】



【基準価額の推移 (ヘッジなしクラス)】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年3月20日～2018年12月31日)

当ファンドにおける1万口当たりの費用の明細に関する情報がいないため、開示できません。

以下は、クレディ・スイス・アジアCBファンドの状況です。

【組入上位10銘柄】

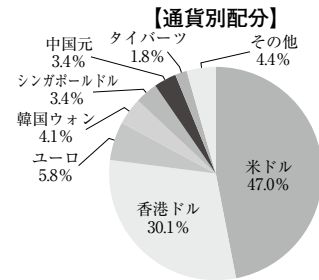
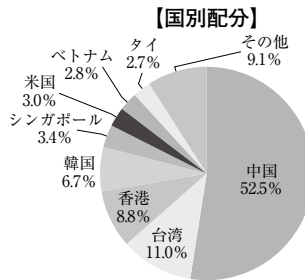
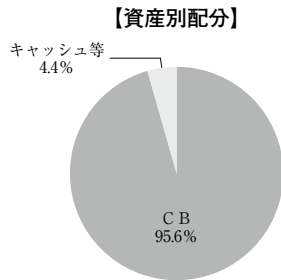
(2018年12月31日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	HAIER ELECTRONIC 0% 2022	一般消費財・サービス	香港ドル	中国	5.8
2	CHINA RAIL CN-H 0% 2021	資本財・サービス	米ドル	中国	5.6
3	CHINA EVERGRAND 4.25% 2023	不動産	香港ドル	中国	5.4
4	CHINA OVERSEAS 0% 2023	不動産	米ドル	香港	5.1
5	COUNTRY GARDEN 0% 2019	不動産	香港ドル	中国	5.0
6	POSTAL SAVINGS-H 0% 2025	金融	米ドル	中国	3.6
7	SMIC 0% 2022	情報技術	米ドル	中国	3.5
8	KUNLUN ENERGY 1.625% 2019	エネルギー	中国元	中国	3.4
9	PING AN 0% 2020	金融	米ドル	米国	3.0
10	VINGROUP JSC 3.5% 2023	不動産	米ドル	ベトナム	2.8
	組入銘柄数		39銘柄		

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国(地域)につきましては、リスク国を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、リスク国を表示しております。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス - エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。